

2023年度

S 3

小 論 文

2月25日(土)

人文社会科学部 (言語文化学科)

10:30~11:30

【前期日程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(1枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、1ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(1枚(表裏))を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあける。
- ・改行したら、最初の一マスをあける。
- ・句読点は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」はそれぞれ一マスで使う。
- ・英数字は一マスに2文字入れてよい。

- 6 問題は、声を出して読むではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。(配点100%)

わが国では、どうして「あのー」が活躍するのだろう。わが国でも、たしかに「あのー」の多い人とそうでない人がある。しかし、「あのー」は普遍的である。あまり堂々とした演説は傲慢に聞こえて「浮き上がった」ということさえありそうである。少し詰まりながらの語りのほうがよいという美学が英人にあつたというが、それに通じるものがあるかもしれない。

通り過ぎる未知の人にたとえば道をきこうと寄ってゆく時も「あのー」が活躍する。「あのー」と言いつつ近づいて、「あのー、失礼ですが、ちょっとよろしいでしょうか」「え、はい、どうぞ」「あのー、どこそこに出るにはここをまっすぐ行ってよいと聞いてきたのですが……」「あー、ちょっと違いますね、あのー、一つ南の通りに下がって云々」。ここで、場面に適切な音調で発せられた「あのー」は、「お急ぎの様子の方にもものをおきするのは失礼なので、迷っているのですが、教えて、話しかけたいしますけれども……」というだけの含みを伝えている。と同時に、「いや、ちょっと急いでいるので」と断られてもお互いに傷つかない配慮があるということも示している。

私の例文は「あのー」を誇張していると思われそうである。しかし、記憶では「あのー」の多くは消去される。私たちはそのように条件づけられているといってもよい。テープに採録された自分の語りを聴くと、私はこの種の言葉遣いの多さに恥じ入ってしまう。しかし、上の会話でも「あのー」を全部削除したら、どうであろうか。「あのー」はためらいであり、はじらいである。そういうものとしてしかるべきものでさえある。それは、未知の人の生活に心ならずも割り込む際の作法の一部である。

中井久夫『私の日本語雑記』(岩波現代文庫)

問 「あのー」のような言葉遣いの意義や役割について論じなさい。(1600字以内)

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文（前期日程試験：令和5年度）	問題番号	S3
対象学部・学科（課程）等	人文社会科学部（言語文化学科）		
出題のねらい	<p>日常的コミュニケーションにおいて間投詞「あのー」の果たす機能について触れた課題文を理解できているか、またその課題文を踏まえて、言葉の意義や役割について、自らの気づきや考えを的確に表現できるかを問うことをねらいとしている。</p>		
採点基準	<p>配点 100%（100点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題文の内容を理解した上で、設問に沿った形で論述できているか。 ・ 課題文を踏まえて、自らの考えを的確に論述することができているか。 ・ 何気ない言葉の持つ奥深さに気づいているか。 ・ 日本語表現の巧拙。 ・ 論理の整合性はあるか。 ・ 誤字脱字はないか。 		